



北広島町 定住者の声

▲北広島町に10年ぶりにUターンされ、趣味のスキーボードを楽しむ遥平さん。

安芸郡海田町からIターンされた里沙さんも今年は二人で畑に挑戦したいと話してくれました。

移住のきっかけは？

高校進学の際に豊平の実家を出て市内に10年くらいいたんですが、2011年に帰ってきました。2014年の夏、結婚して今の家に住み始めました。

移り住んだときの印象は？

子供の頃と変わってないですね。子供がおらんくらいで。あと、飲食店がちょっとなくなっていたり、道がキレイになっとったりするくらいかな。いいところは、変わらないところだと思います。

お仕事は？

実家の(有)豊栄堂染工場で働いています。制作もしますし、営業もしますし…経理以外は何でもやりますよ。高校を卒業したあと26歳までマツダの下請けで働いていて、実家に戻ってから兄に習いながら染め物を覚えました。(遥平さん)
北広島病院で、看護師をしています。患者さんもみなさん話をするのが好きで、いろいろ話してくれます。おらかな人ばかりで、市内にいたときより楽しいです。(里沙さん)

驚いたことは？

すごい量の雪だなと(笑)。この冬、どっと降ったときは運転できませんでした。市内の実家付近は降ってもすぐ溶けるので…。あと、同じ広島でもことばがぜんぜん違って、最初は患者さんが話してくれても何を言っているのかわかりませんでした。(里沙さん)



▲明治28年創業・豊栄堂染工場の
5代目となる遥平さん

良かったことは？

日々、自然を感じることで。市内では四季をぜんぜん感じなかったけど、虫が川沿いの草むらで鳴いてるとか、霜が降りて寒いとか…。仕事は、都会でも田舎でも大変ですけど、今は仕事が終わればずっと自然の中なので、セカセカした世界から解放された感じでした。帰ってきて、良さがわかりました。(遥平さん)

こちらに来るまでは、時間に追われて外を見る余裕もなかったけど、今の職場はみんなおおらかで、ゆったりした時間が流れてます。ちょっとしたことは「あ、いっか」と思えます(笑)。(里沙さん)



幸せを感じるひときは？

神楽や、地域の体協の集まりで、いろんな職種の、いろんな年の人と出会えて、いろんな話ができるのがいいなと思います。(遥平さん)

だんなさんの家から採れたての野菜をもらって食べる時とか…。あと、静かで車の音がなくて、虫やカエルの声とか、鹿の鳴き声が聞こえてきて。自然がすぐ近くにある感じがします。窓の外の電線に、定期的にふくろうが来るんですよ。すごいですよね。(里沙さん)

ご近所とのつきあいは？

2011年に帰ってきてすぐ、地元の阿坂神楽団に入りました。週2回、20~22時の練習はキツイんですけど、入ってよかったなと思います。体協の、スポーツしたあとの懇親会も楽しいですよ。市内ではそういう集まりって、あまりないと思うんですよ。(遥平さん)

私は神楽は見るんですけど、神楽団のお子さんたちを見てると、のびのび育てている感じがして、市内より子育てはしやすい環境なんじゃないかなと感じます。(里沙さん)



移住を検討している方へのメッセージ？

市内は、すこし歩けばコンビニがあったり、なんでもあって、すごく便利。でも、市内にはないものがここにはたくさんあります。緑が多かったり、ほたるが飛んでいたり。得るものは多いと思います。(里沙さん)

都会では、仕事して、終わって帰るというだけですけど、こっちは神楽だったり体協の集まりだったり、仕事以外にも自分の存在を発揮できる場所があるので、それが魅力なんじゃないかなと思います。ぜひ、来てください。(遥平さん)



▲小野 遥平 (おの ようへい) さん、里沙 (りさ) さん 30代
移居前：広島市 現住所：北広島町阿坂 移住年月：平成23年